

宇都宮市立御幸小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
基礎的・基本的な知識・技能の 確実な定着	<ul style="list-style-type: none"> 朝のぐんぐんタイムの充実 (漢字・計算・「書く」活動) AIDリルの活用とステップアップシートの実施 読書活動の充実 	国語の「書くこと」の領域の平均正答率は、市と同程度だった。観点別で見ると国語では、知識・技能における平均正答率が市より3.8ポイント下回っている。また、算数の知識・技能においても市より9.2ポイント下回っている。基礎的・基本的な学習内容の定着が必要である。
話し合い活動・学び合いの場の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 話し合う必然性のある課題や場の設定 ワークシート、学習形態の工夫 児童の考えをつなぐ教師のコーディネート等の支援 	8割以上が「自分から進んで話し合いに参加している」と回答している。「自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる」の質問に対しては、市の肯定回答と同程度であった。「ものごとをいろいろな視点や立場から考えている」においては、2.4ポイント下回っている。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る取組を行っていく。授業で習ったことを復習したり、計画的に家庭学習に取り組んだりする点において、課題が見られるので、学習がんばり週間や学習カードなどを活用して、家庭との連携を図りながら学習内容を定着させていきたい。

話し合い活動・学び合いの場の充実の取組により、グループ活動等での会話のやり取りが上達してきた。更に多面的な視点を持ちながら、活発な意見交換ができるよう、学校課題の図書館教育と合わせて国語に関する「話す力・聞く力」も伸ばしていきたいようにする。